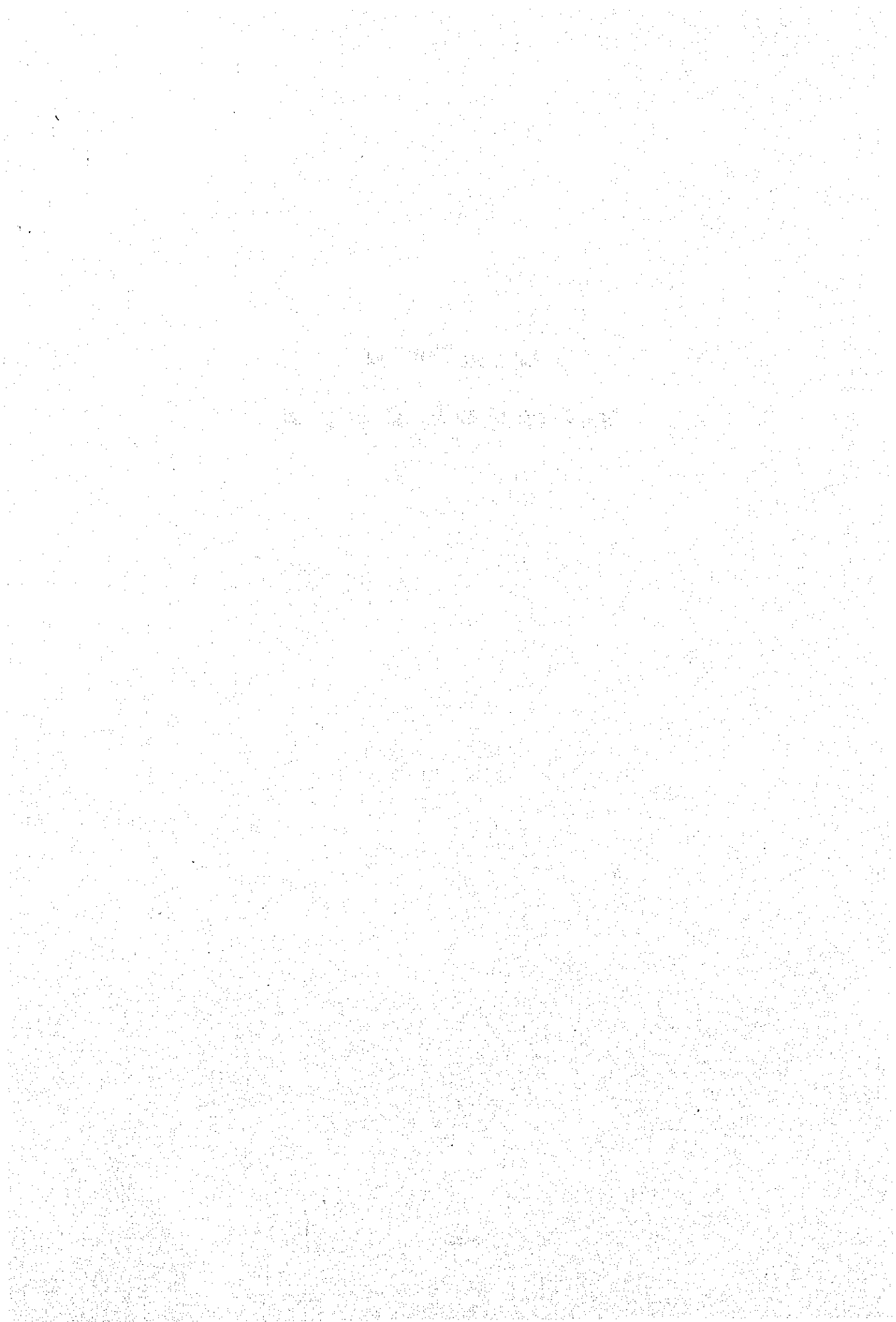


附 属 資 料

第 2 次 合 同 委 員 会 資 料



第2次 合同委員會議決（'83. 4. 18）

# '83年度日韓農業共同研究

日韓農業共同研究事業管理所

# 目 次

I. '82年度 主要事業実績	5
1. 試験研究事業	7
2. 技術者 交流	8
3. 試験研究 機資材導入	10
II. '83年度 計画	13
1. 試験研究事業	15
2. 技術者 交流	20
3. 試験研究機資材および文献	23

I . . '82 年 度 主 要 專 業 員 績

I. '82年度主要事業実績

1. 試験研究事業

研究課題	題目数	項目数	実施機関	担当者数	
				外国側	日本側
I. 農作物気象災害の気候区分に関する研究	2	2	農業技術研究所	3	1
II. 作物気象反応の解明に関する研究	2	2	農業技術研究所 園芸試験場	5	1
IV. 気象災害の対応技術確立に関する研究	2	2	園芸試験場 作物試験場	4	-
計	6	6		12	2

2. 技術者交流

(1) 日本農事專家來韓

姓名	門 家		專 門 分 野	共 同 研 究 機 關	帶 在 期 間
	所	屬			
坪井八十二	JICA 特別囑託		研究全般(國長)	農村振興庁	'82.12.1 ~ '83.3.31
内崎孝兵衛	九州農業試驗場		農業氣候資源量分布變動	農業技術研究所	'82.12.6 ~ 12.24
船田福也	果樹試驗場		災害発生限界知覚条件確定	園芸試驗場	'83.1.11 ~ 2.27

(2) 韓國農林學園および研修員派遣

○ 視察団

姓 名	所 属	職 級	期 間
洪 殷 基	農村整頓庁 作物試験場	田作 1 科長	'82.10.27 ~ '84.2.10 ( 14 日 )

○ 研修員

分 野	姓 名	所 属	研 修 機 関	研 修 期 間
農業気候資源量分布と変動	李 亮 秀	農業技術研究所	農業技術研究所	'83.2.11 ~ '84.2.10
複発発生機構の生理生態的解明	李 文 熙	作物試験場	”	'83.2.11 ~ '84.2.10



3. 試驗用機資材

(1) 購入機資材

機 資 材 名	用 途	種 類	數 量	單 位	金 額
1. Air - Conditioning System	作 物 品 種 育 成	19	60	點	21,568,200
2. Lighting System	"	2	2		535,000
3. Automatic Control System	"	38	38		51,396,800
計		59	100		73,600,000

(2) 専門業 携行機材

携 行 者 区	分 区	種 類	数 量	配 付 処	主 要 機 材
野 田 博 也	機 械	1	1	圃 芸 試 験 場	Digital Conductivity Meter
	図 書	1	1	圃 芸 試 験 場	機物の耐凍性と寒冷適応
	消 耗 品	5	39	農 業 技 術 研 究 所 3 個 作 物 試 験 場 圃 芸 試 験 場	最高最低温度計, Digital 湿度計, 記録紙, 蒸気量検出器用部品

II . '83 年 度 計 劃

Ⅱ . ' 83 年 度 計 劃

I. 試験研究事業

(i) 集 括 表

研 究 課 題	題 目	項 目		規 模
		継 続	新 規	
Ⅰ. 農作物気象災害の気候区分に関する研究	1. 農業気象資源量の分布と変動 2. 災害危険度の推定と分布 4. 耕地微気象の特性解明と影響	1		1
		1		1
		-		1
		1		4
Ⅱ. 作物気象反応の解明に関する研究	1. 被害発生機構の生理生態的解明 3. 被害量推定法と収量推測法の検討	-		5
		1		3
		-		2
Ⅲ. 耕地の気象管理技術確立に関する研究	1. 被覆物に依る環境調節技術の確立 2. 水管理に依る環境調節技術の確立	-		1
		1		6
Ⅳ. 気象災害の対応技術確立に関する研究	1. 品種的対応技術の確立 2. 栽培的対応技術の確立	1		6
		1		6
	計	6		30

(2) 研究課題概要

研究課題	課題	項目	実施機関	担当	著者	
I. 農作物気象災害の気候区分に関する研究	1. 農業気象資源量の分布と変動	(1) 農業地域の気象特性分布と変動調査	農業技術研究所	日本側	信谷(謙)	香村秀烈
		(2) 地域別水田土壌の温度調査	"	韓国側	鄭英寅 鄭仁正	相男
	2. 災害危険度の推定と分布	(1) 災害気象条件の分類と出現頻度	統規	日本側	谷柳	孫秀淡
		(2) 地形別土壌水分の変化様相調査	新規	韓国側	朴任	裕男
	4. 耕地微気象の特性解明と影響	(1) 水稲群落内熱収支特性の解明	"	韓国側	嚴李	沢風
II. 作物気象反応の解明に拠る研究	1. 災害発生の限界気象条件の推定	(1) 果樹凍害発生限界気象条件の解明	園芸試験場	韓国側	金文龍	孫烈
		(2) 果樹凍害被害量の早期診断と採取推定	新規	韓国側	金龍	孫烈
	(3) 越冬期不越冬の限界温度研究	(3) 越冬期不越冬の限界温度研究	"	韓国側	金龍	孫烈
		(4) 災害気象による病害発生生態	"	韓国側	金龍	孫烈
	(5) 災害気象に伴なう害虫の発生生態	"	韓国側	金龍	孫烈	

研究課題	題目	項目	継続規	実施機関	担当	者	
2. 被害發生機構の生理生態的解明		(1) 水稻耐冷性品種の生化学的解析 (不飽和脂肪酸組成)	新規	農業技術研究所	日本側 韓国側	信順 秀男 洪七圭 浮庄 泰杓 午堂 宰 敬 佑 祥 洪 喆 生 敬 範 杉 魁	
		(2) 減数分裂期における窒素追肥が障害型冷害軽減 および収量におよぼす影響	"	作物試験場	日本側 韓国側	谷石 貴 柳 伊 朴 植 朴 委 成 鄭 鳳 植 李 任 趙 丙 鄭 徐 金 相 野 和 尚 電 永 真 容 純 李 勇 賢	
		(3) 減数分裂期栄養状態が冷害におよぼす影響	"	嶺南作物試験場	韓国側		
		(4) 温厩別土質改良剤施用が水稻の養分吸収に およぼす影響	"	嶺南作物試験場	韓国側		
		(5) 果樹耐凍性の遺伝学的解析研究	"	園芸試験場	韓国側		
3. 被害發生推定法と収量推測法の 検討		(1) 気象資料による水稻収量推測法の確立	継続	農業技術研究所	韓国側	鄭 徐 金 相 野 和 尚 電 永 真 容 純 李 勇 賢	
		(2) 主要野菜の収量変動におよぼす気象要因の分析	新規	園芸試験場	日本側 韓国側	金 相 野 和 尚 電 永 真 容 純 李 勇 賢	
		(3) 苗代期および田植期の水分障害と水稻生育	"	農業技術研究所	韓国側		
		(4) 水稻主要生育時期別 冠水が生育および収量に およぼす影響	"	嶺南作物試験場	韓国側		

研究課題	題	目	項	目	統規 継新	実施機関	担当	者
Ⅱ. 耕地の気象管理技術確立 に関する研究	1. 被覆物による環境調節技術の確立	1. マルチング方法別土壌および水分保存効果試験	(1)	マルチング方法別土壌および水分保存効果試験	新	農業技術研究所	韓国側	均弼
			(2)	野菜の簡易被覆栽培による養気象環境解析	"	園芸試験場	韓国側	高文煥
Ⅳ. 気象災害の対応技術確立 に関する研究	2. 水管理による環境調節技術の確立	1. 品種的対応技術の確立	(1)	水稲冷害地域水管理試験	"	湖南作物試験場	韓国側	李竜
			(1)	水稲品種の冷害地域生態反応	"	作物試験場	日本側	山本隆一
			(2)	水稲品種の耐旱耐塩性の地域別生態反応	"	嶺南作物試験場	韓国側	鄭海陸
			(3)	大豆品種の冷害生態反応	"	作物試験場	日本側	佐々木一夫
			(4)	大豆品種の耐旱地域生態反応	"	嶺南作物試験場	韓国側	金申
			(5)	大豆品種の種子貯蔵後低温と抽苔	"	園芸試験場	韓国側	李甲
			(6)	主要野菜の低温発芽性の遺伝学的解析	"	"	韓国側	李承
2. 栽培的対応技術の確立	1. 土壌有機物含量別施肥効果利用	1. 土壌有機物含量別施肥効果利用	(7)	主要果樹別品種別耐凍性検定	継	"	日本側	( ) 梨 詐 九
			(1)	土壌有機物含量別施肥効果利用	新	農業技術研究所	日本側	久津那浩三

研究課題	種別	項目	種別	種別	種別	担当者
		(2) 地帯別水稻機械移植安全作期究明	新	湖南作物試験場	韓國側	吳 飛 洋 程 竜 泰 達 林 昌 基 洪 大 淳 金 吳 孫 金 金 朴 崔 柳 李 朴 朴 尹 郭
		① 米麦二毛作地帯	"	嶺南作物試験場	韓國側	
		② 東海岸冷潮風地帯	"	"	韓國側	
		③ 中間地帯	"	"	韓國側	
		④ 中山間地帯	"	湖南作物試験場	韓國側	
		(3) 水稻機械移植安全作期拡大究明	継	作物試験場	韓國側	



2. 技術者交流

(1) 日本側専門家来録

研究課題および分野	専門家		期	間	勤務機関
	姓	名			
II. 作物の象反応の解明に関する研究					
(1) 果樹	(人選中)			'84. 1. 1上旬～'84. 3. 15上旬	園芸試験場
(2) 水稲栽培	伊藤 延 男	北海道農業試験場		'83. 7. 1～'83. 9. 15	作物試験場
(3) 作物の象	(人選中)			'83. 9. 16～'83. 11. 30	農業技術研究所
(4) 野菜	星野 和 生	野菜試験場		'83. 8. 1～'83. 10. 31	園芸試験場
IV. 象反応の対応技術確立に関する研究					
(1) 水稲育苗種	山本 隆 一	北海道農業試験場		'83. 6. 9～'83. 7. 23	作物試験場
(2) 大豆	佐々木 敏 一	東北農業試験場		'83. 8. 1～'83. 9. 15	作物試験場
(3) 土壌肥料	久津 那 浩 三	北海道農業試験場		'83. 9. 16～'83. 11. 30	農業技術研究所

(2) 韓国飼料業におよび研究員派遣

○ 視察団

① 目的： 日韓農業共同研究計画と関係のある日本の農業試験研究機関と韓国飼料業研究員の研修動態等を視察すること

によつて効果的な事業遂行を図らうとする。

② 派遣期間： 3週間(1983.10.10. ～ 1983.10.30)

③ 派遣者：

1. 所属： 農村振興庁 園芸試験場

2. 職 級： 場長

3. 姓 名： 金正浩

④ 主要遂行事項

1. 共同研究事業成果協議

2. 研究員交流成果協議

3. 主要研究所と試験場視察

4. 主要懸案問題点の討議

○ 研究員派遣

研究課題および分野	派遣員			研究員	期間	研修機関
	区分	姓 名	研 究 所			
I. 農作物気象災害の気候区分に関する研究 (1) 作物気象	正	許 一 鳳	農業技術研究所	農業技術研究所	'83. 8 ~ '84. 7	農業技術研究所
	副	石 順 雄	"		"	
II. 作物気象反応の解明に関する研究 (1) 果樹栽培	正	金 基 烈	園芸試験場	園芸試験場	'83. 8 ~ '84. 7	果樹試験場
	副	金 重 燮	"		"	
(2) 植物病理	正	金 亨 圭	農業技術研究所	農業技術研究所	'83. 5 ~ '84. 4	九州農業試験場
	副	尹 明 洙	"		"	
(3) 作物生理	正	李 善 竜	試験局	試験局	'83. 5 ~ '84. 4	農業技術研究所
	副	吳 範 飛	湖南作物試験場		"	

※ 期間と研修機関は日本側で検討し修正することがある。

3. 要請試験機資材および部品

(1) 導入機資材

優先順位	機 資 材 名	部 品 名	規 格	数 量
1	Agricultural Meteorological Recorder (A)	a. アナログ記録 b. 8要素 12点 測定	IIO - DENKI, AMR	9 Sets
2	Agricultural Meteorological Recorder (B)	a. アナログ記録 演算作業, Print b. 8要素 12点 測定	IIO - DENKI, AMR	3 Sets
3	Standard Thermometer		7ス	10 Pcs
4	Maximum, Minimum Thermometer		0.2目盛, 2重筒式	80 Pcs
5	アスマン Ventilation Hygrometer		ルサフード 中浅	10 Pcs
6	Self-Recording Thermometer		中浅	20 Pcs
7	Self-Recording Humidity		時計式, 7日巻 中浅	10 Pcs
8	Self-Recording Water Temperature meter		毛髪式, 7日巻 中浅	10 Pcs
			1点式 5. m, 時計式, 7日巻	

優先順位	機 材 名	部 品	名	規 格	数	備 考
9	Self-Recording Soil Temperature meter			中 浅	10 Pcs	
10	Agrometeorological Communication System	有線Panafax 7200 (Adaptor包含)		松下電気 Duplex	3 Pcs	
11	Automatic Preparative Ultracentrifuges			Hitachi Mod. 65P-7		
		a. Vertical Rotor		RVP 50 T	1 Pec	
		b. Swing Rotor		RPS 56 T	1 Pec	
		c. Density Gradient Fractionator		DGF - U	1 Pec	
		d. Tube Slicer		TS - U2	1 Pec	
		e. Density Gradient Program Pump		DFG	1 Pec	
12	電子式抵抗記録温度計			横河 ER-180, 6 点式	15 Pcs	
13	光電式風速計			マキノ MANOX-9150	5 Pcs	
		a. 風速 5 点				
		b. 風向 1 点				
		c. 支柱				
14	日射計			英弘 EKO MS-42	10 Pcs	
15	日射出力微積分計			英弘 MP-20-2, 2 Channel	5 Pcs	
16	m.v.記録計			横河 ER-180, 2レンジ 6 点式	5 Pcs	
17	放射率計			英弘 MR-21	1 Pec	
18	放射収支計			英弘 CN-11	1 Pec	

優先順位	機 器 資 材 名 称	部 品 名 称	現 格	数 量	注 記
19	地中熱流計		英弘 CN-81	2 Pcs	
20	通風乾湿計		マキノ、測温抵抗體付	2 Pcs	
21	抵抗温度交換器		横河 TBX-24-6	1 Pcs	
22	波長別日射計		英弘 MS-800	1 Pcs	
23	Pen Recorder		横河 3066-31, 3点式	1 Pcs	
24	熱電対		0.3φ, CCセニール被覆	2,000. m	
25	熱電対用零接点装置		小松,ゼロコン,20点式	2 Pcs	
26	多点Digital記録計		横河 YODAC-8, 60 ch	2 Pcs	
27	総合気象観測装置 (A)		IIO-DENKI, AMR	5 Sets	
28	Recording Paper		No. 1-9, 26 (記録計用)	各2年分	

a. アナログ記録

b. 8要素 12点 測定

(2) 研究文庫

優先順位	書名	著者	発行者	発行所	発行年度	部数
1	新編農業気象ハンドブック	農業気象ハンドブック編纂委(坪井ほか)	養賢堂	空	1974	4
2	農学大辞典	大辞典編纂委員会(川田ほか)	"	"	1970	4
3	冷害と農業放箱	農林水産省	農林統計協会	農林統計協会	1981	4
4	異常気象と農業	坪井, 根本編	朝倉書店	朝倉書店	1976	4
5	冷害と気象	木村耕三	総合図書	総合図書	1967	4
6	気候と生命	内崎, 岩切(訳)	東大出版会	東大出版会	1973	1
7	大気環境の変化と植物	門司, 内崎編	"	"	1979	1
8	気象の探究	大後美保	NHK出版	NHK出版	1977	4
9	生物環境物理学	佐伯, 及川(訳)	共立出版	共立出版	1975	1
10	耕地の生態学	小田, 田中, 宇田川ほか	築地書館	築地書館	1972	4
11	農業気象用語集	日本農業気象学会編	養賢堂	養賢堂	1979	4
12	水風論	新井, 西沢	共立出版	共立出版	1974	1
13	水環境	カヤ根	"	"	1973	1
14	減霜剤—その種類と防除の実際	Budyco(内崎訳)	畑地農業研究会	畑地農業研究会	1966	4
15	気象災害防除の工夫	坪井八十二	家の光協会	家の光協会	1968	4
16	農業物理学	八畝利助	養賢堂	養賢堂	1960	4
17	農業気象学	鈴木清太郎	"	"	1955	4
18	農業気象学	羽生寿郎ほか	文永堂	文永堂	1975	4

優先順位	書名	著者	著者名	発行者	発行年度	部数
19	新灌施設	長島守正ほか		文永堂	1977	1
20	農業施設	"		"	1977	1
21	応用統計ハンドブック	奥野忠一ほか		賢堂	1978	4
22	大気環境の变化と植物	門司正三		東大出版会	1979	1
23	世界の食糧と異常気象	久保祐雄, 谷信輝編		農林統計協会	1982	4
24	太陽光と植物	シエルクギ(内嶋訳)		東大出版会	1970	1
25	土地利用区分の手順と方法	農林水産技術会編		農林統計協会	1975	1
26	農業気象の実用技術	農業気象学会編(坪井ほか)		賢堂	1972	4
27	農林水産と気象	内嶋ほか		朝倉書店	1982	4
28	防災と気象	宮沢清治		"	1982	4
29	気象災害	富山久尚編		共立出版	1966	1
30	気象統計学	鈴木木		地人書館	1968	1
31	近代気象調査法	渡辺ほか		技報堂	1958	1
32	環境科学大事典	佐佐木編		講談社	1980	1
33	小気候	吉野正敏		地人書館	1961	4
34	地表面の熱収支	Budyko(内嶋訳)		河川水温調査会	1959	1
35	太陽エネルギー	押田勇雄		生産技術センター	1975	1
36	気候変動	山本義一編		東大出版会	1979	4
37	世界の気候, 日本の気候	吉野正敏		朝倉書店	1981	1



優先順位	書名	著者	著者名	発行者	発行年度	部数
38	気候変化，長期豫報	根本，明倉ほか		朝倉書店	1981	4
39	国土論，生気候	千栗		"	1981	1
40	地表に近い大気	竹内		東大出版会	1981	4
41	アジアの気候	鳥山 編		古今書院	1964	1
42	アフリカの気候	工藤ほか		"	1974	1
43	日本の気候	和達 編		東京堂	1958	1
44	Water Balance of Monsoon Asia	Yoshino		Univ. of Tokyo press	1971	1
45	Climate and Rice			IRRI MANILA	1976	1
46	Climatic Change and Food Production	Takahashi and Yoshino			1976	1
47	Vegetation and the Atmosphere			Monteith, Academic Press London	1976	1
48	Radiation in the Atmosphere			Kondratyev Academic Press	1969	1
49	Physical Climatology			Univ. of Chicago Press	1965	1
50	Solar Radiation			Elsevier Publishing Company, Amsterdam	1966	1
51	Environmental Effects on Crop Physiology	Landsberg			1970	1
52	Climate in Small Arisia			Univ. of Tokyo Press	1978	1
53	Climate near the Ground	R. Geiger.		New York Press	1980	4
54	Agricultural Meteorology of Japan	Mihara		Univ. of Tokyo Press	1974	1
55	Microclimate	Rosenberg,		Wiley-Interscience Publicati- on New York	1975	1
56	その他の研究資料					

4. 計画の変更

日本側算定が確定された段階において計画の変更が必要な場合には管理所長が研究団長と協議の上本計画の修正を行うことが出来る。

本計画は第2次韓国農業共同研究合同委員会において合意に達したものである。

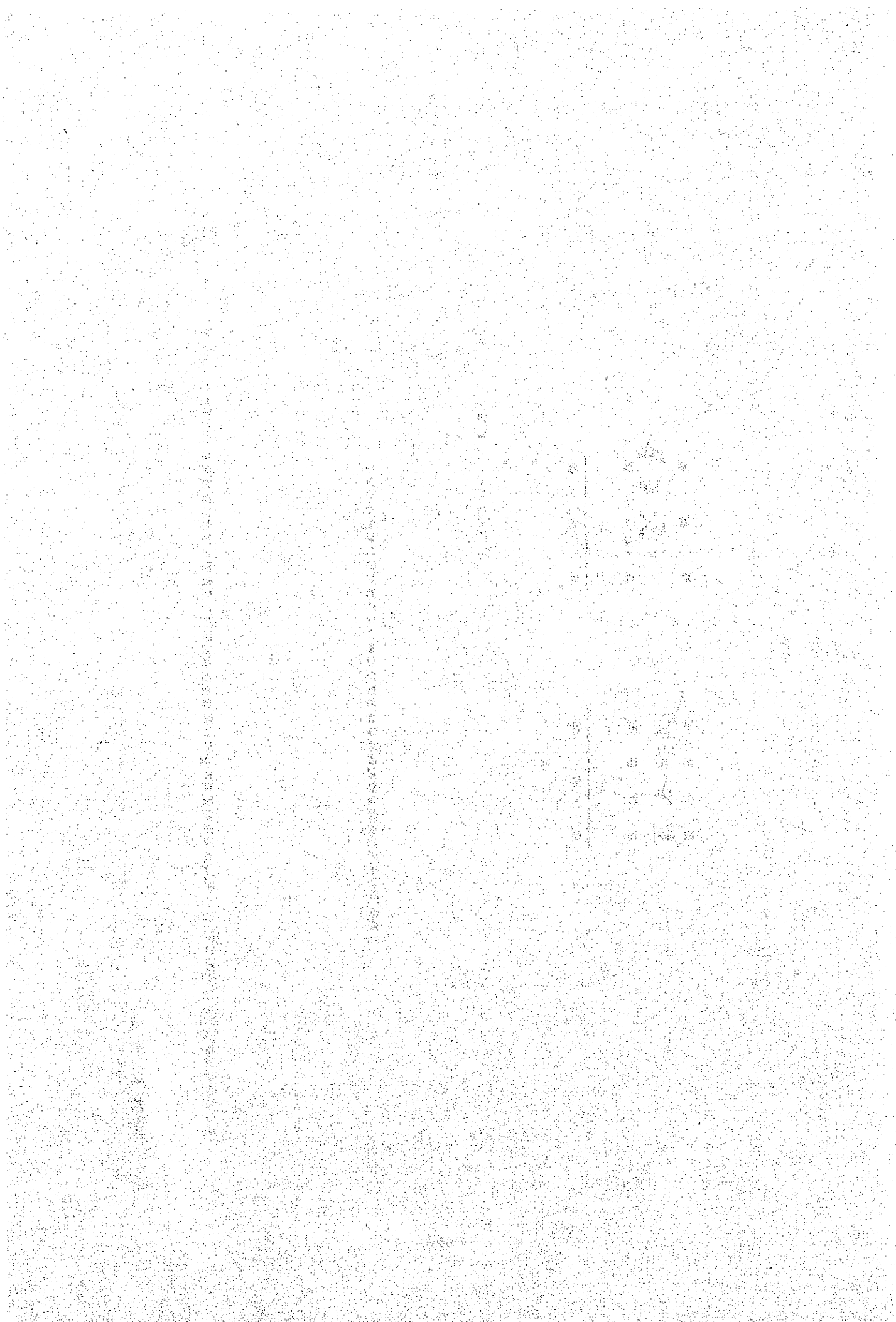
1983年 4月 18日

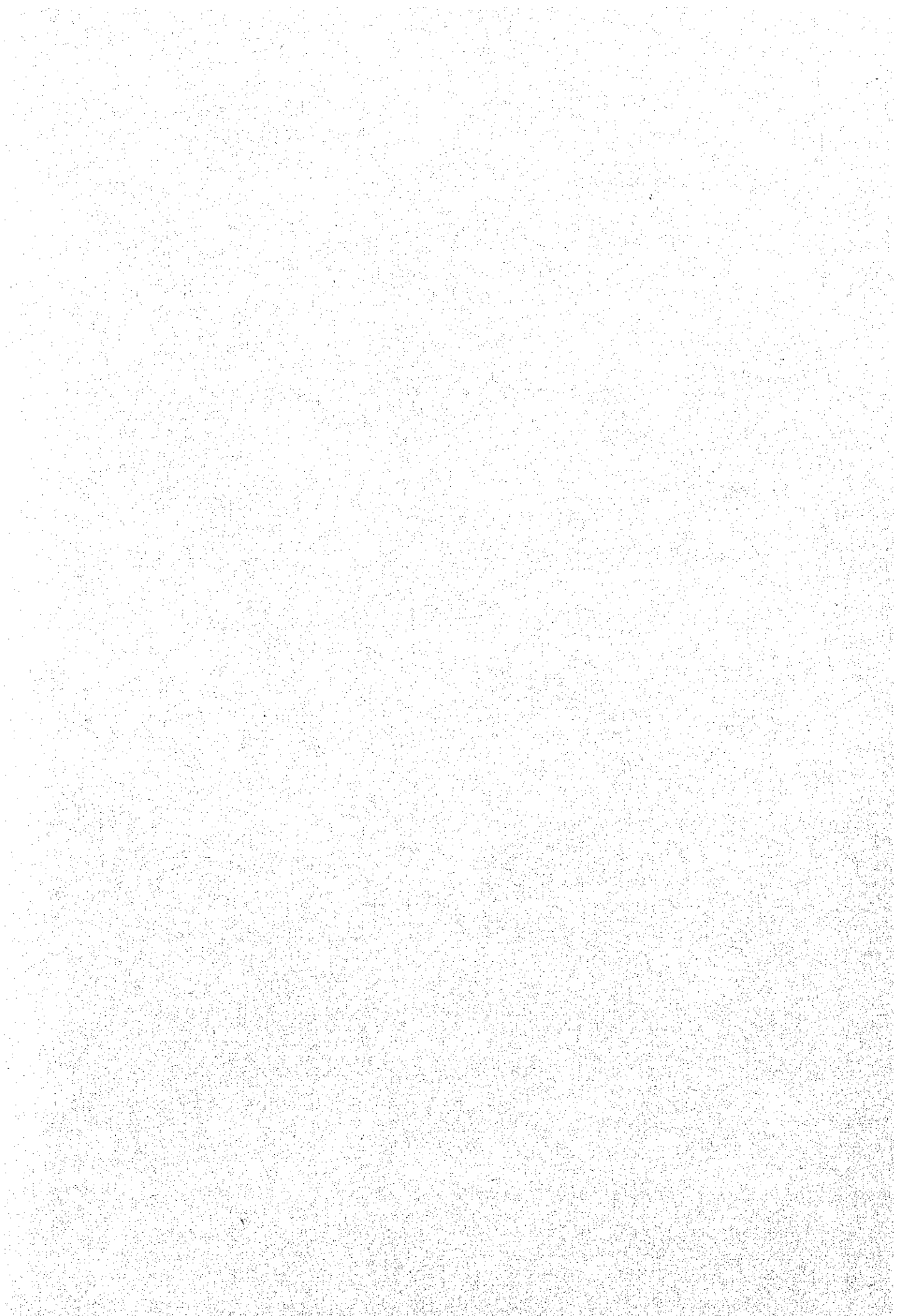
日本側 韓 国 側

研究団長  
森谷 隆夫

管理所長  
金 東 秀







JICA